

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

世界に希望を生み出そう



寛容の心で、
ロータリーを楽しもう

RI会長 ゴードンR・マッキンリー 2023～2024

富津中央RC会長 若鍋武良

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2739 第18回例会 2023. 11. 16 晴

点 鐘 : 若鍋武良 会長
進 行 : 飯島由美 副SAA
久保顯彦 副SAA
ソング : 我らの生業・Rotary

会長挨拶

若鍋武良 会長



皆さん今日は。昨日「鋸山を日本遺産へ」応援プロジェクト実行委員会が金谷のザ・フィッシュで開催されました。来月2日(土)に、ザ・フィッシュを主会場に開かれます。詳細は以前連絡した通りです。参加される会員は、13時に鋸山美術館集合になります。

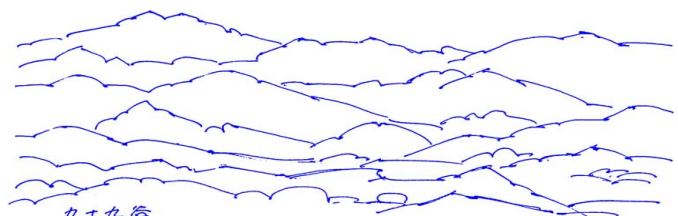
今年もあと僅かになり、あと半月で師走です。今年、1923年(大正12年)9月に発生した関東大震災から100年の年で、各地で防災への取り組みが再認識されました。震災と同じ年に生まれ、今年生誕100年を迎えた二人の著名な文豪がおります。一人は作家の司馬遼太郎で、もう一人が池波正太

郎です。時代劇作家・池波正太郎と剣道の用語でおもてなしの神髄と思われる「残心」についてのエピソードです。時代小説やエッセイなど多くの作品を残した作家・池波正太郎は、旧浅草生まれ、今年生誕100年です。台東区浅草にある池波正太郎記念文庫(台東区立中央図書館内)では、「時代を翔ける池波正太郎の魅力」と題して、池波正太郎生誕100年記念事業が催されています。全著作本、自筆原稿、復元した書斎が公開されています。彼の主な作品は、「鬼平犯科帳」「仕掛人・藤沢梅安」「剣客商売」「真田太平記」などが有名です。彼の作品の多くが映画化されているそうです。

剣道は日本発祥の武道です。剣道の用語に「残心」という言葉があります。文字通り心残りという意味の他に、池波正太郎は剣の道から「剣道では闘って相手を打ち据えた後も、なお構えを立て直して相手の出方を見守る。心を勝負に残す、これが残心。」と述べています。作家池波正太郎は、『師と仰ぐ長谷川伸先生を訪ねておいとまを請う時、一礼して歩き始め、門が見えなくなる所で振り向くと、奥さんはまだ立っていらっしゃる。そこで互いに一礼して別れる。それは何とも言えないいい気分だ。』と、エッセイ文に書いています。電話での会話で会話が終わった後で、相手が見えなくとも電話口の向こうにいる相手に一礼をする。残心です。電話会話でのエチケットの一つです。

来週、台湾姉妹クラブの嘉義南扶輪社(ロータリ

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館
Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
293-0043
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



ークラブ)の14名の方々が訪問されます。おもてなしの心で、温かくお迎えしたいと思います。

幹事報告

岡元 誠 幹事



1. コーディネーターニュース12月号を回覧
2. 医療従事者のロータリアンへ不要になった白衣をお送り下さい。を回覧
3. ハイライトよねやま284号を回覧

ロータリーゼミナール

『私のロータリー人生』

須藤 隆 研修リーダー



私は、会社をリタイアした直後の65才でロータリーに入会し丸15年が過ぎました。印象に残ったロータリー活動を振り返り、これまで培われた私のロータリーへの思いを述べてみたいと思います。

1. 入会した直後のロータリーへの思い

私は、40数年間企業に勤務し、数百名の組織体の中で仕事をし、企業統治、いわゆるコーポレートガバナンスのもとでの活動が体に沁み込んでおりました。従って、ロータリーという任意団体の組織運営については戸惑いが多く、組織としての統制がどの程度のものかも理解しないまま、

数年が経過したと思います。

「ロータリーとは教わるものでなく体現するものだ」との雰囲気の中、流れるままにロータリー活動に取り組んできたような気がします。

2. 入会3年後のロータリーについての卓話

入会3年目に、卓話の中で「私にとってのロータリー」という題名で話しております。その中でロータリーに入会してよかった点を挙げておりますので、ここでその一部を再現してみます。

- 1) 多士済々の方々と交流を通じて多様な価値観に接することが自己啓発に資する。
 - 2) ロータリーの役を担うこと自体が奉仕の精神に通ずる。
 - 3) 卓話の機会は自己研鑽に通ずる。
- ロータリーは私が苦手とする卓話の当番制があります。この苦手な卓話に真摯に向き合うことが自己向上につながるとの思いでありました。

- 4) 些少ではあるが寄付行為を通じて社会貢献をしているとの自負を得る(自己満足か?)
- 5) 毎週の例会が生活のサイクルとして機能している以上が今から12年前に私がロータリーについて語ったポイントですが、それから12年が経過し、種々の体験が、ロータリーへの私の価値観を更に磨いてくれたような気がします。

3. ロータリーでの印象に残った思い出

- 1) 入会2年目にモントリオールでの世界大会出席志波会員、榎本会員と3人で、ニューヨークに2泊し、ニューヨークの夜の五番街とニューヨーク市内観光を楽しんだのちにモントリオールの世界大会に出席しました。

世界大会ではモナコの国王のスピーチに耳を傾け、スピーチの節々で聴衆が拍手喝采、更に満場総立ちになって盛大な拍手喝さいを送るスタンディングオベーションの光景に何度も遭遇し、その聴衆の熱狂ぶりに感動しました。

- 2) 入会3年目の幹事役の時、タイでの世界大会に出席、世界大会に参加した会員は9名で、のうち5名が夫人同伴、総勢14名でタイ旅行を楽しみました。幹事として、国際大会への登録手続等

に苦勞したのが思い出されます。

3) 3度にわたり嘉義南扶輪社の台湾姉妹クラブを訪問したこと 私たちの常識を超える台湾の我々に対するもてなしぶりに驚くとともに、台湾のロータリアンが日本と同じ島国であるにもかかわらず、おおらかで、大陸的な雰囲気を感じさせる行動に感心させられました。

4) 50周年記念行事を開催し、200名を超える招待者と台湾姉妹クラブに対する接待と 記念誌の編集委員長を担当し、会員の協力で記念誌をまとめたことも印象深い。

5) 役職の体験

入会3年目で幹事、5年目で会長、8年目で分区幹事(ガバナー補佐幹事)、14年目で2度目の会長の要職を体験させてもらったことは、わたしのロータリー人生に大きな影響を与えました。

役職を担っているときは、すべての行事や活動に前向きに、真摯に向き合うことで、自分自身の緊張感を維持し、充実した1年間で過ごせたような気がしております。

4. 私なりのロータリークラブの定義とクラブの運営スタイルの理解ロータリーは地域の志を同じくする仲間の交流の場であり、交流を通じて、相互の信頼関係を深め、お互いを尊敬し、例会での対話をはじめ、奉仕や親睦を通じて、自らを成長させることのできるコミュニティと考えます。

毎年変わる会長を団体の代表者とし、年間の活動計画の下で活動し、会長を議長とした理事会が日常の決め事や運営の決定権を有し、委員会活動を通じて、奉仕や親睦を実践します。

5. 今の私にとってロータリーに入会してよかった点

- 1) ロータリーに入会しなければ、知り合いに成れなかった多くの方々と友情が深められたこと。
- 2) 指名されたときは責任ある会長職を引き受けることを億劫に思いましたが、年間を通して誠実にその職を全うすることで、充実感を得られたこと。
- 3) 長年の企業組織人としての感覚が身に沁みついていて私自身、オーナー経営者の会員や、医師、教職従事者等と交流することにより、多様

な考え方に接することができたこと。

4) ニコニコBOXや寄付活動に参加することで、ロータリー入会以前では意識できなかった奉仕に対する気持ちのゆとりが醸成されたこと。

5) みんなの前で話す機会が与えられたことが、自分自身を成長させる一助になっていること。

6. 私自身のロータリーの価値観

1) 毎週の例会に出席し、妻への昼食作りの負担を軽減できたこと。

2) 多士済々の方々との交流、親睦、奉仕を通じて知人が増えたこと。

3) ロータリーに対する価値観は人それぞれで、その人固有の価値観が最も大切。

4) ロータリアンとして共通の価値観は、他人を思い、自らを律すること。

5) ロータリーを体験し、そこで培われたロータリーに対する思いがその人のロータリー感。

最後に

「自分自身のロータリーへの価値観が明確であれば、自ずとロータリーへの愛着が生まれる。」

以上が入会歴15年の私のロータリーに対する思いであります。

委員会報告

『国際奉仕について』

小野恒靖 国際奉仕担当部長



- 1) 嘉義南區扶輪社の皆さんの歓迎について。
- 2) 国際交流協会との交流について。
- 3) 世界大会への参加促進について。

なお、嘉義南區扶輪社の皆さんの歓迎についての詳細を例会終了後、委員会を開催いたしますの

で、国際奉仕担当委員の皆さんは残ってください。

『嘉義南區扶輪社来訪時の配車について』

高橋裕之 会員



本日お配りした、11/23～11/25の嘉義南區扶輪社来訪の際のスケジュールおよび配車表をご覧になってください。

基本的に、各イベントとも乗りあわせで行動するスケジュールになっておりますので、お間違いの無いように今一度確認していただき、ご協力をお願いいたします。

『歓迎会の会費について』

岡元 誠 幹事

11月23日(木)の嘉義南扶輪社来訪歓迎会の会費について

- ・男性 10,000円
- ・女性 6,000円 とします。

『鋸山日本遺産運動について』

神子勝美 会員



1. 「鋸山を日本遺産へ」応援プロジェクトについて。

当日各ロータリーのジャンパーを着用となっております。持っていない会員がいますので、23日の歓迎会の時に鋸山に参加しない会員でジャンパーを持っている方は貸して頂きたい。岡元幹事に渡してください。

2. 11月中に指名委員会を実施したいと思います。案内を作成し事務局に配信のお願いをしますので、参加よろしくお願ひ致します。

ニコニコBOX

諸岡賛陸 親睦担当部長

若鍋武良 嘉義南扶輪社の皆さんを暖かく迎えますしょう。

岡元 誠 //

須藤 隆 卓話をさせて頂いて。

相川恵津子 須藤会員の卓話を聴かせて頂いて。

飯島由美 藤江さん初孫の誕生おめでとうございます。若いおばあちゃんとってもうらやましいです。

藤江みどり 11月9日に初孫(女の子)が誕生しました。名前は終歌(しゅうか)です。

* > 1,000円 計6,000円

出席報告

栗原典子 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	33/28	24	7	2	83.87%
前回	33/28	26	5	2	84.84%
前々回	33/22	20	13	2	70.96%

出席率の計算式

$$\frac{\text{当日出席した会員数} + \text{Makeupした会員数}}{\text{全正会員数} - \text{当日欠席した免除適用会員数}}$$

編集後記

いよいよ、11/23から嘉義南區扶輪社の皆さんが、来訪いたします。我々が台湾を訪問した際の熱烈歓迎を超える歓迎でお迎えしたいと思います。

会員の皆様のご協力を切にお願い致します。

高橋裕之